

令和8年度 学力向上のための重点プラン【中学校】 新宿区立新宿中学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1・令和8年5月22日】

授業作り	重 点	基礎・基本の徹底を行うとともに、単元ごとの振り返りを実施する。
環境作り		デジタルドリルやデジタル教科書などの ICT 機器の活用を行い、生徒の理解を深める。

■ 各教科の取組について

教科	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子などから)	目標達成のための取組
国 語	<ul style="list-style-type: none"> 出題形式の記述式の問題の中央値が全国との差が33.4%下回っている。(新宿区区学力定着度調査結果より) 漢字の読みにおいて、中央値が全国の値より33.3%下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 書くことの機会を増やし、記述の指導を重点目標とする。 漢字の読みと書きの定着のため、定期的に小テストなどを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 個→集団→個の流れで、自らの意見を書く機会を設定し、評価を通じて書く力を高める。 定期的に漢字小テストを実施。
数 学	<ul style="list-style-type: none"> 第三学年は区の平均値をすべて上回っている。 第二学年では、「思考・判断・表現」の定着が低い傾向がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年において、基礎・基本の徹底を行う。 デジタル教科書を活用することで、生徒に興味関心をもたせ、多角的な理解を促す。 	<ol style="list-style-type: none"> 小単元ごとの小テスト デジタル教科書の活用 デジタルドリルの活用
理 科	<ul style="list-style-type: none"> 第三学年は区の平均値をすべて上回っている。 第二学年では「知識・技能」の定着度が低い傾向がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年において、基礎基本の徹底を行う。 実験や観察を行うことで、生徒に興味関心をもたせ、実験操作について習熟させていく。 	<ol style="list-style-type: none"> 小単元ごとの振り返り。 デジタルドリルの活用。 少人数グループにおける実験の実施。
社 会	<ul style="list-style-type: none"> 第二学年、第三学年とも区の平均値を下回っており、理解に課題のある生徒も多い。 第二学年では応用問題が、第三学年では基礎問題の定着が低い傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年において、基礎基本の徹底を行う。 復習を定期的に行い、既習事項を踏まえた授業内容を意識し、既習事項の定着と既習事項を活用する思考力・判断力・表現力を養う。 	<ol style="list-style-type: none"> 小単元ごとの振り返り。 授業ごとの振り返り。 デジタルドリルやデジタル資料集の活用。 グループワークやデジタル教材を使用した学び合い。
英 語	<ul style="list-style-type: none"> 第二学年・第三学年とも区の平均値を下回っており、理解に課題がある層が最も多い。 特に「思考・判断・表現」および「聞くこと」に関する定着度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業は基本的に英語で行うことを徹底し、生徒が「聞く」機会を確保する。 四技能統合の授業運営を常に意識して行い、英語の技能すべてを活用する能力を高める。 	<ol style="list-style-type: none"> 英語による授業運営 主体的な学習活動の実施 グループワークによる生徒の学び合い デジタルドリルの活用